



# 尾山台小だより

12月号

## 学校教育目標

「確かな学力を身に付け、心豊かにたくましく生きる児童の育成」  
～明るい子、考える子、たくましい子～



尾山台小学校HPIはこちら  
尾山台小学校HPIはこちら

〔尾山台小ホームページ〕<http://www.city.ageo.lg.jp/site/oyamadai-elementaryschool/>  
または、「上尾市」ホームページ→「上尾市立幼小中学校」→「尾山台小学校」をクリック

今年もお世話になりました。よいお年をお迎えください。



校長 熊坂 由美子

昭和23年（1948年）12月10日、国際連合第3回総会において、全ての人民と全ての国とが達成すべき共通の基準として、「世界人権宣言」が採択されました。

世界人権宣言は、基本的人権尊重の原則を定めたものであり、人権保障の目標や基準を初めて国際的にうたった画期的なものです。採択日である12月10日は、「人権デー（Human Rights Day）」と定められています。

法務省の人権擁護機関では、人権デーを最終日とする1週間（12月4日から12月10日）を「人権週間」と定め、昭和24年（1949年）から毎年、各関係機関及び団体とも協力して、全国的に人権啓発活動を特に強化して行っています。

法務省のホームページを開くと、人権啓発動画などの紹介がありました。その中に、  
～「誰か」のことじゃない！

人権問題は決して、自分以外の「誰か」のことではありません。～  
と書かれていました。

いじめや虐待、性被害等の子供の人権問題、インターネット上の人権侵害、障害のある人や外国人等に対する偏見や差別といった多様な人権問題は、依然として存在しています。自分以外の「誰か」のことではなく、自分のこととして捉え、互いの人権を尊重し合うことの大切さについて、認識を深めることが大切です。

本校では、11月29日に、上尾市人権擁護委員の方々をお呼びし、全校児童を対象に「人権教室」を開催いたしました。1～3年生、4～6年生と、発達段階に合わせた動画を視聴し、感想を交流しました。動画の内容は、「いじめ」がテーマになっていて、いじめられる子、いじめる子、それを見ている子、という登場人物がいました。特に、「見ているだけ」でも、いじめを止めなければ、いじめている子と大差はないということを感じ取れる内容でした。いじめられている子にとっては、何もしてくれない（注意もしてくれない、一緒になって無視をする）子も、同じように、自分の気持ちは分かってくれないと心を閉ざしてしまうのです。

今回の「人権教室」を通して、子供たちそれぞれが何かしら感じ取ってくれたと思います。これからも、日頃の学校生活における様々な場面で、子供たちにお互いを思いやる気持ちを育ててまいります。



12月には、1,000m走記録会、GET フェスティバル等の大きな行事も、まだあります。「子供見守り活動」として、お時間のある方は、ぜひ、ご来校ください。

そして、全ての子供たちが、2学期の学習のまとめや大掃除を頑張って、清々しい気持ちで今年を終え、明るい笑顔で新年を迎えてほしいと願っています。